

日本スポーツとジェンダー学会(JSSGS)第19回大会 ワークショップ(WS)話題提供者募集のお知らせ

10月24日(土)に延期となったJSSGS第19回大会では、一般発表(追加募集含む)に加え、会員相互の交流も兼ねたワークショップを実施することになりました。つきましては、ワークショップの話題提供者を募集いたします。

下記のテーマ、趣旨に沿った話題を、スポーツとジェンダーにかかわる広範な領域から提供いただき、コロナ禍を踏まえた今後のスポーツとジェンダーに関する研究課題について、会員が問題意識を持ち寄り、共有し、議論する機会を持ちたいと思います。必ずしもまとまった研究成果である必要はありません。社会状況が大きく変化したときに見えるものもあり、そうした事柄の事例を数題報告いただくことで、ディスカッションを喚起したいと思います。

会員のみなさまから、積極的な情報のご提供をお待ちしております。

<ワークショップの概要>

◆ テーマ

コロナ禍の下で考える「スポーツとジェンダーを展望する—東京2020大会後を見据えて」: 課題発見・共有
ワークショップ

◆ 趣旨

「世界的な新型コロナウイルス感染拡大の渦中であって、さまざまな社会のひずみ(格差や差別の実態)が見えてきた。2020東京大会の「延期」をめぐる意思決定の過程において問われるべき問題も顕在化した(政治、商業主義、スポーツ組織の主体性や意思決定など)。

持続可能で包摂的な社会をめざす観点から、JSSGSは3年間包括テーマ:「スポーツとジェンダーを展望する—東京2020大会後を見据えて」(2018年~2020年)を設定した。このテーマの下で、「延期」期間中の今だからこそ考えられる、また考えるべき問題について、ジェンダー視点を含むインターセクショナルな視点から、問題意識を共有し、意見交換の機会としたい。

[テーマ例]

- ✓ コロナ禍におけるオリンピック大会などのスポーツ・メガイベントの自粛や「延期」が今後のスポーツのあり方に与える影響
- ✓ パンデミックや災害時における身体運動に対する知識・教育や実践、メディアとの関わりなど

◆ 開催方法

オンライン形式(オンライン会議システム Zoomにて開催)

◆ ワークショップの進行(予定)

- ✓ テーマの趣旨説明: 全体(5分)
- ✓ 話題提供者による話題提供(各15分)
- ✓ 話題別グループディスカッション(30分)※話題数に応じてブレイクアウトルームを設定
- ✓ グループ報告と全体の意見交換(30分)
- ✓ 全体まとめ

◆ 話題提供の申請方法

- ✓ 第19回大会要項をご参照の上、学会ホームページよりお申込みください。
- ✓ テーマと抄録の提出期限: 10月3日(土)、抄録文字数: 800字